

はじめに一折り返し地点ー

今月23歳になりました！同い年の友人の多くは働いている中、大学生を一年延長して留学させてくれる両親に感謝しています。それと同時に何か成果を納めなければという焦りも感じる誕生日になりました。

そして留学生活が後半戦に入りました。初めて実家を出て成長したなあと感じる部分もあります。しかしその反面、中国語力なさや積極性のなさなどたくさんの課題もあり、これから半年さらに加速度をあげていかなければと思います。こんな意識高いことを言っていますが、半年頑張った自分をねぎらっておいしい台湾スイーツと日本食を食べまくる7月でした。気持ちもオンオフが大切だということも学びました。



吉野家の牛丼はちょっと日本に戻った感じがして、ほっとする

台湾生活

○語学学校

6月から平日は毎日、大学付属の語学学校（MTC）に通っています。授業は10:20~12:10で少し朝が早いので、毎日カフェラテでカフェインを注入しながら、授業に望んでいます。3か月で10万円と有料になりますが、9人クラスで発言する機会も多いため10万円の価値はあると思います。クラスメイトもタイ人、ベトナム人、アメリカ人、フランス人と多国籍です。また、大学生だけでなく、社会人の方も受講でき、異なる年代、国籍の人と交流できることが一番のメリットです。授業後は、クラスメイトとお昼ご飯を食べています。その際は中国語で話すので中国語の勉強になりますし、文化交流にもなります。むしろ授業よりご飯を食べに行くのが楽しみで毎日授業に行っているくらいです。



クラスメイトと行ったランチ

○休日

烏來（ウーライ）という温泉地に行ってきました。もともと原住民族タイヤル族が住んでいる土地ということで行ってみました。ここは日本統治時代に林業や茶の生産地として栄え、温泉もあることから温泉地として有名です。早くから観光地として栄えており、原住民族も漢人化が進んでいるため、「見せるための原住民族文化」という印象でした。原住民族の食べ物を食べたい、文化を知りたいという方にはおすすめです。さらに、高砂義勇隊の像があるということだったので、見に行くことにしました。しかし、想像以上に山道を登った先にあり、雨の中のサンダルでの登山は大変でした。この苦労も今後卒論を書くときに何かの役に立てばいいなと思います。

烏來やタイヤル族について知りたい場合は、麓の老街にある博物館に行くことをおすすめします。烏來の歴史やタイヤル族の文化などを知ることができ、見応えがありました。



イノシシ肉のソーセージ



川に温泉があり、足湯したり泳いだりできる

○美容院

台湾の美容院に初めて行ってきました。私はくせ毛で縮毛矯正に半年に一回かけています。台湾の湿度が高く、最近湿気に負けてぼさぼさになってきたので、台湾で縮毛矯正をかけました。技術が心配だったので、台湾人の友人がおすすめしてくれた、日本人が経営している美容院に行ってきました。美容師さんは全員台湾人で基本的に中国語での会話でした。台湾の美容院と日本の美容院の違いは、施術中にごはんを食べていいところです。向かい側のお客さんが蛋餅のような食べ物を食べていたので驚きました。しっかりサラサラヘアに戻ったのですが、想像以上に高額になってしまったことに震えました。(親に怒られるので正式な値段は控えさせていただきます)日本だとホットペッパーで先に値段がわかるのですが、今回は友人に予約してもらい大体の値段を覚えてもらいました。ただプラスしてロング料金がかかることを忘れていたので、元の値段の2倍かかりました。施術前にきちんと確認するべきでした。

○銀行口座開設

最近為替レートの変動が激しいので、円高の時に日本円を台湾ドルにして貯金しておきたいと思い、銀行口座を開設しました。基本中国語での会話になりますが、ほぼ手続きは係りの人がやってくれるので一時間ほどで開設できました。事前の予約をネットでする必要がありますが、直接店舗に行くと係りの人が予約をとってくれます。

台湾のキャッシュカードはデビットカードの機能があり、お店でデビットカードとして利用できます。ネットショッピングや一部のお店では、日本のクレジットカードが使えない場合があるので台湾の口座があると便利です。

【口座開設に必要なもの】

パスポート、印鑑、居留証、学生証、日本の運転免許証、日本のマイナンバーカード

【おすすめ銀行】

国泰銀行 (今回利用した銀行。MRT の駅、宿舍のコンビニに ATM が設置してあるので便利。)

中国信託銀行 (多くのコンビニに ATM が設置してある。キャッシュカードの絵柄が LINE とコラボしててかわいい)

○防空訓練

台湾有事に備えて、台湾全土で年に防空訓練があります。警報が鳴ってから30分間は全員屋内に避難しなければなりません。公共交通機関もストップします。従わなければ、多額の罰金をとられます。日本では体験できないことだったのでドキドキしました。緊張感があり物々しい雰囲気なのかと思いきや、ソワソワしているのは私たち留学生だけでした。私は食堂で食事をしていたのですが、周りの台湾人は何食わぬ顔で食事をとり続けていました。

YouTube で日本のニュース番組で防空訓練の様子が取り上げられているのを見ました。そのニュース番組では物々しい様子で描かれていましたが、誇張されているように思いました。実際は「有事のために！」というよりは、「罰金とられたくないから」という感じでした。日本の防災訓練の方が緊張感があると思います。ただ、従わないと国籍問わず本当に罰金をとられるので、この時期に台湾に行く際は注意が必要です。



スマホに来た防空訓練開始の通知
緊急地震速報みたいな通知音はない

卒論 NOTE

6月の報告書では、台湾の女性議員について取り上げました。今回は、行政院原住民族委員会を取り上げ、先住民族がどのように政治に参加していったのかまとめていきます。

【行政院原住民族委員会とは】

1985年に設立された、原住民に関する事務処理を担当する組織。日本でいうと省庁のような立ち位置。原住民政策の策定と推進において、より一貫性と先見性を持たせ、全体的な企画機能を果たすことができるようになった。

【行政院原住民族委員会ができるまで】

1980年代半ば 原住民のエリートの一部は民主化とナショナルアイデンティティ再編の中で「原住民（族）運動」を展開し始める

1991年

原住民族運動諸団体は憲法改正運動のなかで、「土地返還」「自治の実現」「各族の国会代表議席の確保」「中央政府レベルの原住民族専門行政機関の設置などを要求

1994年

第三次憲法改正で<原住民>で用いられる、「多元文化の尊重」が協調

1996年

原住民に対する問題を取り扱う専門機関として、行政院に原住民委員会が設置される

1997年

<原住民>→<原住民族>

「民族の意思の尊重」という文言も盛り込まれた

【なぜ原住民族に対して寛容な態度なのか】

特に陳水扁政権

- 1、台湾ナショナリズムが高揚する台湾で、原住民族の象徴的地位が向上しているから
→中華人民共和国との間に一線を画し、独立性を主張するために原住民の存在価値は大きい
- 2、国際的孤立の打開や国連加盟を目指して「人権立国」や「海洋国家」をアピールしたいため
→先住民族あるいはオーストロネシア語族として諸外国の人々と連帯しえるという価値を台湾原住民はもっている

【参考文献】

- ・石垣直「現代台湾を生きる原住民 ブヌンの土地と権利回復運動の人類学」風響社 2011年
- ・行政院原住民族委員会、行政院原住民族委員会ホームページ
(2023年8月5日取得 <https://www.cip.gov.tw/zh-tw/menu/data-list/5CB34240F988D677-info.html?cumid=5CB34240F988D677>)